

● 広報

おぐに



跳ぶように走る

9月5日、小国小学校大運動会が開催されました。白組と赤組に分かれて競いあい、白組が優勝旗を手に入れました。コロナ禍で、保護者の参観時間の制限等も行われ、例年通りの開催とはなりませんでしたが、選手宣誓で両組頭が目指した、「ぼくたちだからこそできる、ぼくたちにしかできない運動会」を見事大成功に収めました。

2020

10

No. 792

雄大なる山々を武器に

山岳観光への高まる期待



石転び沢雪溪

『日本百名山』という言葉は皆さん、聞いたことがあると思います。始まりは、文筆家で登山家の深田久弥さん（石川県）が全国から100の名峰各座をわずか4ページにまとめた随筆です。これは、1964年に発行され、多くの登山愛好家に親しまれています。この選ばれた100座には、小国町から登山道が整備されている飯豊連峰、朝日連峰も数えられています。この2峰はこれまでも、数多くの登山愛好家によって愛されてきました。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、3密を避け、屋外で過ごすことに注目が集まっています。その中でも、心身も鍛えることのできる登山が脚光を浴びてきています。今月は、白い森おぐにの観光資源として期待される山岳観光の取組みを紹介します。

町内の日本百名山

【飯豊連峰】

山形、福島、新潟3県にまたがり、町の南部地区に登山口を構える飯豊連峰。飯豊山（2105m）を主峰とし、最高峰は大日岳（2128m）であり、北股岳（2024m）等の数多くの山々から形成されています。特に人気がある、7月を過ぎても雪溪の残る石転び沢コースですが、毎年のように事故が起き、注意が必要です。

【朝日連峰】

1871mの大朝日岳を主峰とし、町の北部地区に登山口を構えます。飯豊連峰と比べ、標高は2000mに満たないが西朝日岳や以東岳と南北に連なる主稜線が魅力であり、縦走に適しています。先に述べた飯豊連峰と合わせ、「東北のアルプス」と呼ばれ、親しまれています。



アウトドアニーズの高まり

平成6年から9年にかけて、中高年の登山入門番組や日本百名山の紹介番組がテレビ放映され、全国的に中高年を中心とする登山ブームが起りました。その少し前には、小国町は第47回国民体育大会（べにばな国体）の登山競技会場となっています。当時、小国町に全国から都道府県予選を勝ち抜いた選抜者368人が集まり、縦走・踏査（オリエンテーリング）・登攀（クライミング）技術を競い合いました。その後、平成25年の世界文化遺産登録で登山者が急増した富士山をはじめ、全国的に登山ブームが

再燃し、県内の山岳観光地に訪れるかたも平成28年まで増加傾向にありました。（山形県観光者数調査）現在は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が明け、自宅で過ごす時間が増え、3密を避けたレジャーが注目されています。その中でも登山やキャンプを含むアウトドアに注目が集まっており、コロナ禍においても、大手アウトドアメーカーでは、緊急事態宣言解除後は、前年を超えた売り上げを記録しているようです。（決算資料情報）

町内の山々をご紹介

『日本百名山』に数えられた、東北を代表する飯豊連峰

と朝日連峰をはじめ、町内には、数多くの山々があります。県みどり自然課が監修を行った『やまがた百名山』（イラストを元Studioこぐまの吉田真理さんが担当）は、「地域の宝である山に光を当て、山の魅力を認識し、山岳観光の振興につなげる」ことを目的に県民から公募して制作されました。町内からは9座掲載されています。また、県は、『やまがた百名山』に選出した山の登山道を対象に、体力度と技術的難易度を評価した「グレーディング」も発表しています。今回、百名山の選定とグレーディングに関わった小国山岳会会長の井上邦彦さん（北）に話を伺いました。

■山の初心者にお勧めの山はありますか。

↓樋倉集落にある「徳綱山」が良いですね。途中にはブナ林が広がり、頂上直下は高度感が出てきて、頂上からの眺めは大朝日岳や朝日連峰はも



▲徳綱山山頂より町内や飯豊連峰を望む

ちろんですが、小国町を隔てて雲海に浮かぶ飯豊連峰を望むこともできます。新緑もいいですが、これからの紅葉の時期はとても素敵です。

※徳綱山（788m）樋倉橋を徳綱集落に進む途中に登山口があります。

■足に自信がないかたでも登れる山はありますか。

↓それなら、伊佐領駅から見上げる「百石山」が良いと思います。最近ではテレビ等で

も何回か紹介されていますので、ご存知のかたも多いかと思えます。

※百石山（599m）旧伊佐領小学校跡地が登山口となり、山頂からは、横川ダムが眺望できます。

■南部地区でお勧めの山はありますか。

↓飯豊山荘の手前にある倉手山をお勧めします。目の前に雄大な飯豊連峰が屏風のように立ち塞がり、とても人気のある山です。登山口の駐車場には必ずと言っていいほど、登山者の車が止まっています。これからの季節なら飯豊連峰の稜線に積もった新雪と紅葉が同時に眺めることができる頃がお勧めです。

※倉手山（952m）飯豊山荘へ続く町道沿いに登山口があります。

■町民のかたへメッセージをお願いします。

↓山菜採りやきのこ採りも良いですけれど、登山は山頂に

立った時の達成感が格別ですよ。弁当と水筒を持って、気軽に里山から登山を始めてみませんか。

町内には、数多くの山々があります。普段と少し変わった空気を感じに出かけてみるのもいいかもしれません。



▲井上邦彦さん（小国山岳会会長・NPO法人飯豊朝日を愛する会副理事長）

山岳観光を支えているのは

令和元年度、飯豊連峰では5万1千2百人、朝日連峰では1万4千7百人の登山者が訪れています。（町観光者数調査）今後も、登山客増加が

功労者表彰（環境大臣表彰）を受賞しています。

また、忘れてはいけないのは、飯豊朝日山岳遭難対策委員会遭難救助隊（渡部政信隊長）の存在です。小国町役場に事務局を置く飯豊朝日山岳遭難対策委員会（会長仁科町長）が山岳遭難、その他事故に対しての捜索等を行うため、小国山岳会員に隊員を委嘱しています。これまで、登山の魅力についてお伝えしてきましたが、自然を相手にする以上、良いことづくめではありません。山では天候や環

期待される山は、整備をしなれば、雑草、雑木が生い茂り、登山道が目視できなくなり、道迷い等の危険性が増えていきます。町では、県からの委託に基づき、利用者の安全確保及び登山道の荒廃防止のため、飯豊地区の主要4路線18・5kmと朝日地区2路線11・4kmの登山道刈払補修整備、登山道の吊り橋の冬期間の維持補修業務を実施しています。飯豊地区の業務を依頼しているのは、NPO法人飯豊朝日を愛する会（草刈広一理事長）です。同会は、町の業務の他にも、北股岳避難小屋（梅花皮小屋）や御西避難小屋の管理、環境省や林野庁と協力しながら、飯豊連峰の登山道の維持管理や補修の他、裸地化した登山道等において、高山植物の種をまくなどの復元作業にも力をいれています。こうした活動が認められ、令和元年度環境山形大賞、令和2年度地域環境美化



▲ヤシガラのネットを巻いたものを、登山道に配置し、登山道の保護と水の逃げ場を確保

特集 雄大なる山々を武器に～山岳観光への高まる期待～

境は急激に変化することも多く、登山者は危険にさらされることもあります。令和元年に全国で発生した山岳遭難は、2531件となり、過去10年間の山岳遭難発生状況をみると増減を繰り返していますが、平成25年以降は2000件以上で推移しており、平成22年と比べると589件も増加しています。山形県内では、77件発生しており、死亡者が9名でした。(令和元年における山岳遭難の概況)本町管内で、この3年間で遭難事故は22件起こっ



▲大朝日岳山頂からの夕日



▲対応者以外は距離を取るなどの、感染防止対策を行いながらの救助訓練

ており、死者・行方不明者も3人出ています。こうした事態に備え、飯豊朝日山岳遭難対策委員会遭難救助隊、小国警察署による、合同訓練が毎年行われています。今年度は、9月18日(金)に旧小玉川小中学校体育館(雨天のため)を会場に行いました。新型コロナウイルス感染症の疑いがある遭難者の救助を想定し、感染防止対策を行いながらの救助方法について、訓練の中で確認しました。(訓練のため、カップを使用していますが、本来は、防護

山頂に向かう場合、片道7時間以上かかります。これは、東北各地の名峰と比べても非常に長い道のりです。平岩山に避難小屋を建設できれば、大朝日岳から2時間程度手前に宿泊することができ、無理なく町側から大朝日岳を目指すことが可能になります。そうすることで、現在大江町(古寺鉾泉口)の登山口に集中し

ている登山者を分散することができ、登山道の保全も期待されます。その現地視察が9月3日、県みどり自然課、NPO法人飯豊朝日を愛する会、小国町により行われ、実現へ向け、一歩進み始めました。今後、さらに山岳観光が注目されていく中、町は引き続き雄大な山の魅力を武器に町をPRしていきます。

服を着用します) 山岳観光を盛り上げていくためには、魅力を磨き上げることも重要ですが、環境面や安全面の向上も重要な課題として捉えていく必要があります。 今後の 山岳観光への期待 町の重要事業として朝日連峰の平岩山に避難小屋建設の要望を続けてきました。町から大朝日岳



平岩山避難小屋視察 山頂分岐から大朝日岳を背に

所信表明

令和2年8月1日に再任された仁科洋一町長が、9月2日に開会された令和2年第9回小国町議会において、今後4年間の町政運営にあたっての所信表明を行いました。その内容を抜粋して掲載します。

はじめに

多くの町民の皆様から、温かい、また力強いご支援をいただき、引き続き、町長として、この小国町の舵取りを任せていただくことになり、改めて、その責任の重さを痛感するとともに、町民の皆様の大きな期待と信頼に応えられるよう、全力を傾注していく所存でございます。

まちづくりに向けた

基本的な考え方

今から4年前、我がふるさと小国を、「みんなが輝いているまち」にしたいと訴え、今日まで、町民の皆様とともに、理想とする「白い森の国づくり」に全力で取り組んできました。幸い、皆様がたのお陰で、白い森の商標登録、地域総合商社の設立、保小中高一貫教育の実現等々、私が思い描いた「白い森まるごと

ブランド構想」が形になりつつあります。

しかしながら、激動する時代の中で迎えたこれからの4年間は、これまで蒔いてきた種をしつかりと根付かせながら、5年後、10年後、町民みんなが「輝いているまち」にするため、その第一歩を皆様とともに、改めて踏み出す時であると認識しています。

私は、この度の選挙で、「雇用を創出し 親子で住める町づくり」というスローガンを呼びかけてまいりました。これは、言うまでもなく、「住み続けたい」という土地があり、一人ひとりが大切にされ、助け合う優しさと笑顔があふれている「ふるさと小国の魅力を遺憾なく発揮するための舞台づくりです」。

現在、地方が直面しているのは、少子高齢化を伴う人口減少、社会資本ストックの老朽化、地球環境問題の顕在化、ポストコロナ社会への対応な



▲まるごと塾vol.10手書きPOP講座

ど、多くの課題が山積してきます。しかし、白い森の国「おぐに」を未来に向けて発展し続けていくためには、社会の変化に的確に対応しつつ、困難な課題に屈することなく、志高く、果敢に挑戦し、「持続可能な未来の小国」を町民の皆様とともに創り上げていく決意です。

重点的な政策の方向

持続可能な未来の小国を実現するため、私が取りまとめた「第5次小国町総合計画」

並びに「第2期小国町地域創生総合戦略」に基づき、白い森の国を担う「人づくり」、白い森の魅力を磨く「環境づくり」、白い森を舞台とする活き活きとした「暮らしづくり」に全力で取り組みながら、持続可能な行財政運営を行ってまいります。

まず「人づくり」では、保小中高一貫教育を一層進めるとともに、生涯学習のまちづくりの砦となる「新・総合文化センター」を整備します。

さらに、令和の時代は「共感と共有の時代」とも言われていますので、先人が築き上げてきた地域の伝統や文化を継承し、過去に学ぶ拠点となる「白い森伝承館」の機能を旧伊佐領小学校に整備します。これにより、卒業生や町民がかつての学び舎に思いを馳せ、小学生の頃にタイムスリップできる場所を創出します。

次に「環境づくり」ですが、

新潟山形南部連絡道路「小国道路」の整備促進に取り組みます。また、国連が掲げるSDGsの「未来都市」へエントリーするとともに、地域防災の機能向上、地域公共交通の利便性の向上などに努めます。

三つ目の「暮らしづくり」では、白い森まるごとブランド構想に基づき、飯豊梅花皮荘の改築、地域総合商社の機能発揮、活力みなぎる産業の振興、「道の駅白い森おぐに」の地域情報拠点性の向上、白



▲令和元年9月27日 道の駅白い森おぐに 白い森のくまさんランドオープン

い森ショッピングセンター「アスモ」のにぎわい創出などを図ります。さらに、子育てサポート体制の充実や、いきいきとした長寿社会を実現するとともに、町立病院を核とした地域医療の充実を図ります。

政策推進の姿勢

これらの新たな政策や施策を事業化するためには、当然必要な財源が伴うこととなります。厳しい財政状況の下で、複雑かつ多様化、個性化している地域課題に対処しながら、「親子で住める町づくり」を繰り返していくためには、たゆまぬ行財政改革と持続可能な自治体運営を確保していく覚悟です。自治体の財政には限りがあります。町民の皆様からお預かりしている税収を、どのような行政サービスの内容で町民にお返ししていくかを追求しながら、見直すべきものは見直し、投資す



▲高齢者顕彰式でお祝いの踊りを披露するすみれ保育園の子どもたち

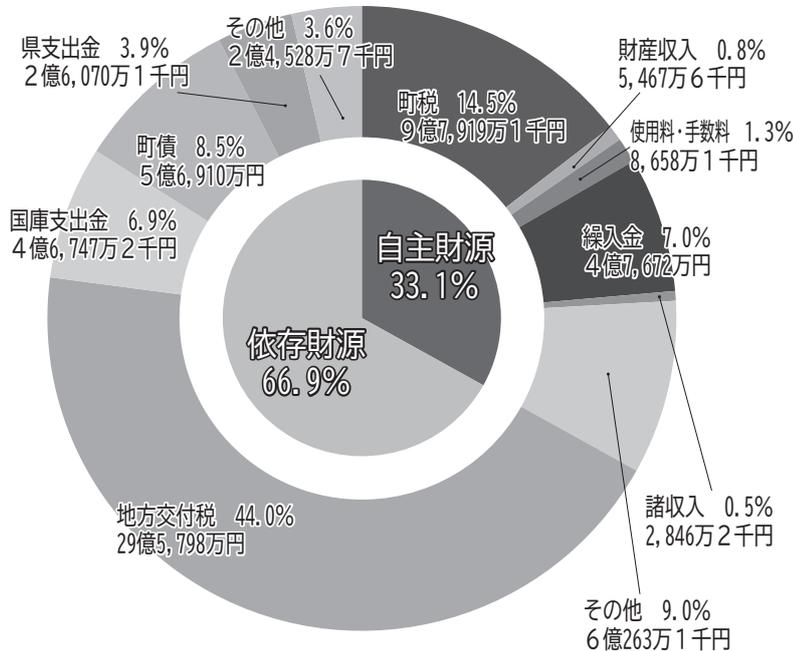
べきものには投資をするという姿勢で、行財政運営を展開してまいります。

おわりに

まちづくりは議員各位を始め、町民皆様のご理解、ご協力なくして実現できるものではありません。私は、これからの4年間、「白い森」の未来に向けて全身全霊を尽くす所存です。皆様がたには、今後とも、格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

決算報告

一般会計歳入 67億2,880万1千円
(前年度比0.7%増)



令和元年度一般会計と企業会計、特別会計の決算が9月11日、小国町議会9月定例会で認定されました。一般会計歳入総額は67億2,880万1千円、同会計歳出は62億3,970万8千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は4億8,378万円の黒字となりました。各会計の決算状況をお知らせします。

入ってきたお金

町民税では、景況の停滞により給与所得が低下し個人町民税が減少したほか、建設業を中心に大幅に業績が低下したことから法人町民税が減少し、町税全体では、対前年度比2.4%の減となりました。

地方交付税は、特殊要因に対して交付される特別交付税が暖冬・少雪の影響により大きく減少したことから、全体で対前年度比3.7%減となりました。

国庫支出金は、道路整備に要する社会資本整備総合交付金や小中学校の冷房設備整備に係るブロック塀冷暖房設備対応臨時特例交付金などが増加し、対前年度比18.4%増の4億6,747万2千円となりました。

町債は、償還財源として交付税措置のある有利な起債の活用に加え、道の駅機能拡充事業などに伴う過疎対策事業債等を発行し、対前年度比5.8%増の5億6,910万円となりました。

歳入総額は、対前年度比0.7%増の67億2,880万1千円となりました。

特別会計・企業会計の決算状況

■簡易水道事業特別会計	収入 6,525万円	支出 1,488万8千円
■国民健康保険事業特別会計	収入 7億8,624万6千円	支出 6億4,486万2千円
■部落有財産特別会計	収入 1億836万3千円	支出 556万2千円
■下水道事業特別会計	収入 3億5,178万4千円	支出 3億4,343万9千円
■訪問看護特別会計	収入 8,172万6千円	支出 8,044万1千円

■介護保険特別会計	収入 10億3,432万9千円	支出 10億1,835万4千円
■後期高齢者医療特別会計	収入 1億1,126万5千円	支出 9,298万8千円
■病院事業会計	事業収益 10億1,378万2千円	事業費用 10億8,167万9千円
■老人保健施設事業会計	事業収益 3億4,833万3千円	事業費用 3億4,962万8千円
■水道事業会計	事業収益 1億1,016万6千円	事業費用 1億1,406万1千円
■工業用水道事業会計	事業収益 1億539万6千円	事業費用 1億738万1千円

令和元年度

■資金不足比率の状況

公営企業の経営健全化を示す指標で、資金の不足額を営業収益で除した値となります。本町では、病院事業、水道事業、工業用水道事業、老人保健施設事業、簡易水道事業、下水道事業の6会計が対象になります。令和元年度決算について、資金の不足額が発生する会計はありませんでした。

使ったお金

義務的経費は、人件費が増額となったため、対前年度比0.8%の増となりました。人件費は給与改定に伴う職員給与や期末・勤勉手当の増などにより、対前年度比3.1%、2,784万円の増額となりました。公債費では、平成18年度過疎対策事業債等の償還終了などにより、対前年度比0.3%、225万2千円の減額となりました。

投資的経費は、対前年度比37.1%、1億3,949万1千円の増額となりました。普通建設事業では、道の駅機能拡充事業、町道松岡黒沢峠線道路整備事業、町道橋補修事業などを継続して実施したほか、貝少地区農道整備事業、町民総合体育館外装改修事業（長寿命化）、除雪機械の購入などを実施しました。

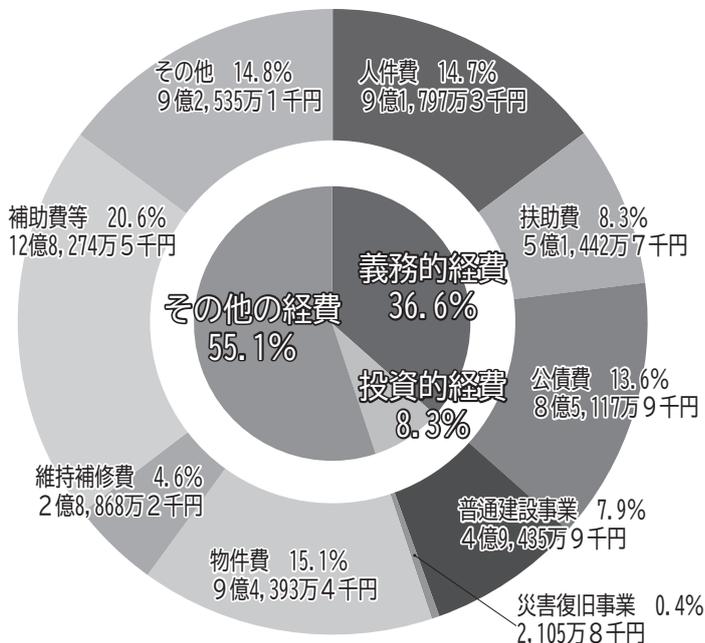
また、各基金については、利子積み立てを図るとともに、財政調整基金、減債基金、除雪対策基金、白い森ふるさと応援基金、森林整備等促進基金の原資積み立てを行いました。

歳出総額は、対前年度比0.7%減の62億3,970万8千円となりました。

主な基金の積立状況

減債基金や白い森ふるさと応援基金等に原資積立を行いました。財政調整基金、白い森ふるさと応援基金、電源立地地域対策交付金公共施設管理運営基金等を各種施策事業に活用したことにより、残高は11億9,625万2千円となり、前年度から1億6,671万9千円減少しました。

一般会計歳出 62億3,970万8千円
(前年度比0.7%減)



■健全化判断比率の状況

令和元年度一般会計決算に基づく財政の健全化判断基準は、下表のとおりです。比率が早期健全化基準、財政再生基準を超えると、それぞれの財政健全化計画、財政再生計画の策定が義務づけられます。表中のいずれの指標においても、財政悪化の判断基準に達していません。

指標	比率(単位%)	
実質赤字比率 一般会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	—
	早期健全化基準	15.00
	財政再生基準	20.00
連結実質赤字比率 町の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	—
	早期健全化基準	20.00
	財政再生基準	30.00
実質公債費率 町の借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	11.8
	早期健全化基準	25.0
	財政再生基準	35.0
将来負担率 町の現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	92.8
	早期健全化基準	350.0
	財政再生基準	—

名称	基金の残高	対前年度増減額
財政調整基金	5億9,924万8千円	▲1億4,126万円
減債基金	7,960万2千円	590万1千円
その他特定目的基金	5億1,740万2千円	▲3,136万円
合計	11億9,625万2千円	▲1億6,671万9千円



道の駅「白い森おぐに」レストランあいあい 「お母さん食堂あいあい」で再出発

新型コロナウイルスの影響により、4月から営業を休止していた、道の駅「白い森おぐに」にある「レストランあいあい」が装いを新たに「お母さん食堂あいあい」として9月12日リニューアルオープンしました。メニューも町内産の材料を使った8種に。道の駅の竹内駅長は、「これからの秋シーズンに向けて芋煮やきのこを使ったメニューを提供していく予定です」と話してくださいました。今後の新メニューからも目が離せません。



峠の茶屋跡遺構の実測調査を実施 黒沢峠敷石道の保全と活用に向けて

9月10日から12日までの3日間にわたり、東北芸術工科大学歴史遺産学科の北野博司教授ならびにゼミ学生6名と、黒沢峠敷石道保存会の方々とで黒沢峠の茶屋跡（古屋敷）遺構の実測調査が行われました。これは、保存会が平成30年度から進めている「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業の一環で実施されたもので、登録遺産の構成文化財として茶屋跡を今後保存、活用していくための基礎調査となります。初めて黒沢峠に来たという学生たち。調査地への道中、苔むす美しい敷石道を堪能していました。



「小国☆地域みらい塾」開講 地域づくりをワカモノの手で



今年度から地域づくりの人材育成を目的とした、ワカモノプロジェクトが始動しました。その第1弾として、8月28日に健康管理センターを会場に「小国☆地域みらい塾」が開講し、開講式と第1回講座が開かれました。(株)ぱとん（仙台市）の遠藤智栄社長が講師となり、「話し合う力とファシリテーション」をテーマにグループワーク形式で進められました。参加者の田邊樹生さん（岩井沢）は開講式で意気込みを聞かれると、「地域の中でやってみたいな、こうした方がいいなを形にできるように頑張りたい」と話していました。

講座は、12月までの計5回を予定しており、どんなアイデアが出て、地域づくりに活かされるのか今後は楽しみです。

新潟山形南部連絡道路「関川-小国間」 早期着工・完成をめざして



伊藤会長による就任挨拶

新潟山形南部連絡道路「関川-小国間」早期実現推進協力会の令和2年度総会がおぐに開発総合センターで8月21日に開催されました。新会長に就任された伊藤通芳会長（栄町）は「早期着工、完成に向けて、微力ながら尽力していきたい」と挨拶されました。総会后には、山形河川国道事務所の竹下事務所長より、「山形河川国道事務所の事業概要（道路関係）」と題した講話が行われました。

第66回全日本中学生通信陸上競技大会 小国中学校陸上部が躍動

第66回全日本中学生通信陸上競技大会が8月10日に開催され、女子共通4×100mリレーで小国中学校が51秒11の記録で大会を制しました。「2週間前に怪我をした選手がいたり、当日もバトンパスが上手くいかなかったりしたけど、なんとか取り返そうと皆が頑張った結果、1位になって嬉しいです」と話してくださいました。齋藤姫奈さんは、女子共通4種競技でも第1位になっています。



▲左から、2年生の難波俐音さん（兵庫館）、齋藤姫奈さん（増岡）、1年生の佐藤有さん（上岩井沢）、五十嵐琉星さん（あけぼの）

松井あきらさん（米沢興譲館高校） 科学の甲子園で最高賞に



新型コロナウイルスの影響により中止となった科学の甲子園全国大会（高校生が科学の知識や技能を競う）の代替審査で、県立米沢興譲館高校が最高賞の優秀賞に輝きました。同メンバーの一員として、2年生の松井あきらさん（叶水）が受賞に貢献されています。「中止が決まり、発表する場がなくなり悔しかったが、事前課題による審査で、コロナで落ち着かない中でも、新たな目標に切り替えて頑張ったことが評価され、嬉しく思います。」と話してくださいました。数多くの参加校の中でも独創的なアイデアが高く評価されての受賞となりました。受賞された事前課題のデモンストレーション動画は科学の甲子園ホームページ第9回全国大会内で公開されています。興味のあるかたはご覧ください。

「今年も稲刈りの季節になりました」

地域おこし協力隊 **よしだ ゆうと**
吉田 悠斗

協力隊通信

series 54

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」は鎌倉時代に書かれた平家物語の冒頭ですが、稲刈りが始まるとそんな無常感が頭をよぎります。寒さが残る春、大事に種を蒔いて育てられた苗は、約半年の時を経て穂を実らし田を黄金色に染めましたが、あっという間にコンバインで収穫されていきました。ああ、今年も実りの秋を迎え、日に日に寒くなつては冬が来て、また今年も終わるんだろうなと。毎年同じように季節は巡るけど、人も町も山も歳を重ねて同じ形で存在することはないのだと思うと常に終わりと始まりは表裏一体なのだと思い知らされます。この感覚はやはり都市に住み続けていたら、わからなかった感覚だったでしょう。小国町に移住して早3年目。来年の今頃はこの町から何ができているのだろうと考える期待に満ちた今日この頃です。



▲機械ってすごいね

地域の学び舎、冬季分校

⑥ 綱木

本町東部の白沼地区から流れ出る明沢川は、箱の口集落で横川本流と出合います。その少し上流側で明沢川に注ぎ込む綱木川。かつては、その沢すじを4kmほど上流へさかのぼったところに、綱木と呼ばれる9戸からなる小さな集落がひらかれていました。昭和42年8月に発生した羽越水害は町内各地に甚大な被害をもたらしました。綱木も例外ではなく、それが契機となり、昭和44年の秋に各戸が町内別所（1戸は他県）へ移転し閉村となりました。今では「綱木箱口」として地区名にその名が残されています。

この綱木箱口地区は伊佐領地区と合わせ、伊佐領小学校（平成23年3月閉校、※1）の校区となっていました。しかし、綱木の児童たちは冬期間、本校の

ある伊佐領集落まで通学するのは非常に困難で、ここにも冬季分校が開設されていました。『伊佐領小学校閉校記念誌がんこ山』（平成23年発行）によると、大正8（1919）年、それまでの家庭教育所（明治35年に初めて設置）に代わり冬季分校が開かれるようになったようです。

今回、その綱木冬季分校について教えてくれるのは北在住の須藤源市さん（昭和16年生まれ）です。当時、近くに住んでいた小国小学校の校長先生に紹介してもらい、一冬だけ綱木冬季分校で教員として勤めたそうです。それは須藤さんが21歳だった昭和37年度の冬のことです。

「箱の口からはまず、山の神社の前を通って吊り橋を渡り、対岸の山ぎわ、沢伝いに

登っていくんです（※2）。そして綱木集落近くになると二つ目の橋があるので、また、それを渡って。すると棚田が広がっていて、視界が開けます。そこから4、500mほど田んぼのなか、坂道を登っていくと集落です。橋を渡ったところからでは集落は奥で、見えません。

学校は集落の中ほどから左手に2、300mぐらい行ったところの高台にありました。集落を一望できるところで、背後は杉林となっていました。でも、私が寝泊まりしていた部屋の前はちょうど切り開かれていて、集落の下の方の棚田が見えてましたね。57年経った今でもその光景が目には浮かびますよ。

春先の凍み雪なんかになると、かり、かり、かり、という獣の歩く音なんか聞いて、非常に良かったですよね。」と、須藤さんは懐かしそうに教えてくださいました。

「春先の融雪期になると、沢伝いの道は雪崩危なくて歩かないんですよ。だから、綱木の

冬季分校は4月の末までありましたね。

子どもは9人いました。学科もだいたい教えました。本校の伊佐領の先生からも言われてましたけど、まず、子どもを怪我させないように、病気をさせないようににと。幸い何事もなく、学校の世話方の皆さん、集落の皆さんに支えられ楽しく過ごさせていただきました。

綱木では、1年ごとの輪番制で、学校の世話方をする家が決まっていた。学校にお風呂はなかったの、その世話方さん



▲綱木冬季分校

（年代不明、写真提供＝小国町教育委員会）



◀綱木集落の子どもたち
(写真提供=須藤源市氏)

須藤さんは冬季分校の教員を終えたその年(昭和38年)の7月に再び綱木集落へ遊びに行き、お世話になった村のかたがたや教え子たちと再会を果たした。

「写真見て
今は懐しあの山川も
過ぎにし日々も五十七年」
と須藤さん。

の家で入らせてもらってたんです。あと、先生が週末、自宅に帰るときなどは、世話方の人た

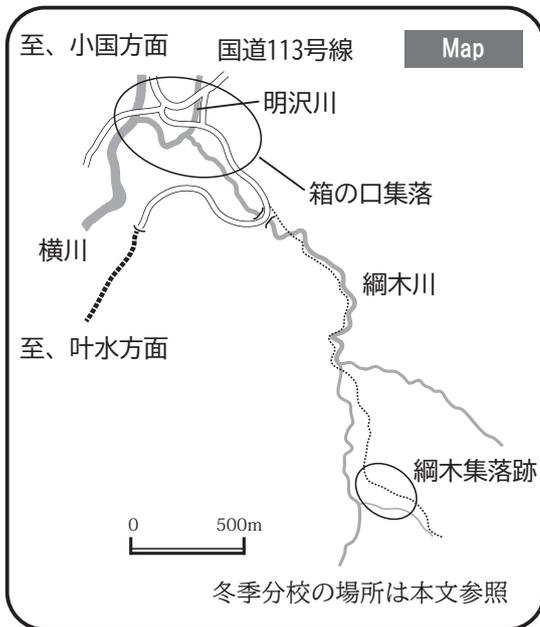
ちを中心に二人、三人、伊佐領駅まで一緒についてきて送り迎えして下さるようでしたね。私はスキーが得意で自信があったし、皆さまに迷惑をかけられないと思って一人で帰ってましたけど。だいたい駅まで2時間くらいはかかりましたね、片道、ひどいときは。道、全然ないわけですよ、みんな吹きさらしで。だから沢伝いを勘で行きましたね。」そう須藤さんは話します。

須藤さんが綱木冬季分校で過ごしたのは、三八豪雪と呼ばれる大雪の年でした。「集落を出て、最初の橋を渡るまで棚田になって15度くらい傾斜のある下り坂なんですね。でも、スキーを履いても膝ぐらいまで埋まってしまつて。くつとスキーを上げては、また上げて。そうやって一歩一歩、沢まで下りていった記憶がありますね。」と須藤さんは言います。さらに、除雪が間に合わず、米坂線が1週間ほど止ま

ったときは、スキーで実家のある小坂町まで半日近くかけて帰ったそうです。

そんな厳しい環境のなかにあった綱木冬季分校にも、それをものともしない、たくましい子どもたちの姿がありました。「子どもたちはやっぱり素直ですよ。それに、将来どうあろうと、とにかく今現在はいっぴかりとここで暮らすんだっていううな、肝がすわっているというか。そんな子どもたちでしたよ。心配りができて、よく体が動く。家できちんとならされてるんだらうし、大人の生活をずっと見ているから自然とそうなるんでしようね。」と、須藤さん。

『伊佐領小学校閉校記念誌がんこ山』によると、昭和5年、冬季分校専用の建物が新築されましたが、それは9戸全員の熱意によるものだったとあります。さらに、それが狭くなり昭和12年に改築さ



れるときも住民たちの多大な労働奉仕があったようです。

冬期は隔絶されがちな山間に、ひっそりとあった綱木集落。そこでは、9戸全員が協力し地域の学び舎を大切に支え、しっかりとした子どもたちを地域で力育ててくれたのです。

※1 伊佐領小学校が独立校となったのは昭和38年4月のことで、それ以前は小国小学校の分校の一つであった。

※2 この綱木までの道は、現在も箱の口集落のかたがたによって管理作業がおこなわれているとのことである。

令和2年第9回 小国町議会定例会

令和2年第9回定例会が9月2日(水)から11日(金)に開催されました。令和2年度一般会計補正予算のほか、令和元年度各会計の決算などが審議され、原案のとおり可決・認定されました。主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認

■8月7日付専決処分

7月28日の大雨により、大規模被災した町道等3路線について、国の補助災害復旧事業の採択を受けるために必要な測量調査及び設計積算に係る費用450万円を追加する補正予算の専決処分が承認されました。

■8月19日付専決処分

8月16日未明からの大雨により、被災した町道の維持補修や国の補助災害復旧事業申請に必要な測量調査及び設計積算に係る費用2907万円を追加する補正予算の専決処

分が承認されました。

一般会計に

3億4018万9千円を追加

「新しい生活様式」等への対応に要する経費や豪雨により被災した林道、農業用施設及び町道の災害復旧費等のほか、町内中核企業に対する工業用水道料金の支援、除雪対策基金への積み増し等の所要額を追加し、補正後の予算総額は、75億9074万4千円となりました。また、町内の公共施設の指定管理の期間が令和2年度までとなっているため、指定管理者制度に伴う、債務負担行為の期間及び限度額について設定しました。

■総務費では、令和2年7

月豪雨で被災した熊本県小国町のふるさと納税として代理受領を行った、73件137万8千円の寄附を、送金することとしました。感染症予防のため、リモート会議

が増加していることから、機器整備に要する経費を追加しました。新総合センターの建設に向け建設予定地の土地利用計画を策定することとしました。今年度実施される国勢調査において、調査員と世帯員の感染症防止対策のため、オンライン回答を推進する費用や、感染予防マスク等の所要額を組み替えました。

■民生費では、人工透析患者の送迎事業において、感染症予防のため、現在行っている送迎車両内が密集しない運行体制を年度末まで継続するための所要額を措置しました。また、新型コロナウイルスの影響により、休業や失業に伴う生活困窮者等の生活の安定と経済的負担の軽減を図るため、県では市町村と連携し、「食」の支援事業を制度化したため、県社会福祉協議会の生活福祉資金の特例貸付けの受給者に対し、1世帯あたり60kgの主食

用米を支給することとしました。

■衛生費では、長井西置賜休日診療所の業務において、医師及び薬剤師が新型コロナウイルス感染症に罹患した等で自身の医院等を休業した場合に、西置賜1市3町で休業補償することとし、長井西置賜休日診療所運営業務負担金を追加しました。斎場の空調設備が故障したため、利用者の利便性を考慮し修繕を行ったことから、当初予算に不足が生じたので、所要額を措置しました。また、病院事業の感染症防止対策として、クレジットカード等によるキャッシュレス決済を実施することとし、所要額を措置しました。

■農林水産業費では、例年以上に全町的に増加しているニホンザルなどによる農作物被害を防止するため、電気柵設置補助金を追加したほか、「小国町特定鳥獣被害防止対策協

「議会」が行う追い払い用花火の購入及び配布対策費用の不足分の補助金を増額しました。豪雨により、林道田沢頭峠線外8路線において、小規模な路肩崩壊や路面洗堀などの被害が発生したことから、維持管理に必要な所要額を措置しました。

■商工費では、横根スキー場のゲレンデ照明不点箇所修繕、第一ペアリフト防風ネット設置、不具合が生じた梅花皮荘の厨房業務用冷凍庫の購入費のほか、観光施設の修繕費に不足額が見込まれるため、所要額を措置しました。

梅花皮荘、飯豊山荘、道の駅ぶな茶屋厨房や道の駅直売所及び総合観光案内所の各施設において、「新生活様式」へ対応する機器等の設置費用を措置したほか、観光協会が新型コロナウイルス収束後の観光経済再生のため、地域総合商社と連携して情報発信機能の強化を図るための、ホームページリニューアル等の事業を支援するため、所要額を措置しました。

■土木費では、融雪後の支障木の発生や路面補修などの作業量が当初の見込みより増加したことに加え、豪雨の影響により、今後の舗装補修費や維持修繕費に不足が見込まれることから所要額を措置しました。

■住宅費では、町営住宅幸町団地の2戸1棟が空室となったため、解体する経費を措置しました。

■消防費では、洪水時における救助活動を確保するため、水害救助用支援ボートを整備することとしました。

災害時の一次避難所及び災害対策本部の設置場所として指定している役場庁舎において、災害発生時の情報収集等のため、WiFi（ワイファイ）環境を整備するための所要額を措置しました。

■教育費では、ICTを活用した授業動画等の作成・配信オンラインの環境整備に要する費用を措置しました。

■災害復旧費については、豪雨により被災した井の下頭首工等について災害復旧の所要

額を措置しました。

小国町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

国の基準の一部改正に伴い、特定教育・保育施設における食事の提供に要する費用について、保育料から除くこととしたほか、名称変更等による関係条項の整理により、所要の改正を行いました。

**小国町教育委員会
委員の任命**

町教育委員会委員の任期満了に伴う人事案件が提案され、新たに佐藤靖彦氏（玉川）が任命されました。任期は令和2年10月1日から令和6年9月30日までとなります。

令和2年度地価調査結果

令和2年度山形県地価調査結果が公表されました。小国町に関するものは右表のとおりです。

地価調査とは、各地域で基準となる土地価格を公表し、土地を売買する際の目安等としていただくものです。

■問合せ先

山形県県土整備部県土利用政策課
(☎023-630-2430) へ

所在	当年価格	前年価格	変動率
兵庫館一丁目6番11	8,700 (円/㎡)	8,830 (円/㎡)	-1.5%
緑町三丁目9番1	15,500 (円/㎡)	15,800 (円/㎡)	-1.9%
兵庫館三丁目5番20	7,060 (円/㎡)	7,140 (円/㎡)	-1.1%

今年はコロナ禍により町外でのプロモーション活動が難しい状況ですが、9月11日(金)から13日(日)までの3日間、仙台市で開催された楽天イーグルス主催の復興マルシェに出店してきました。楽天イーグルスでは、2012年より東北全体が一丸となって元気を発信しているとうとう「がんばろう東北シリーズ」を開催しており、復興マルシェのほか、球団WEBサイトで各地の特産品を紹介する「特産品応援プロジェクト」も公開されています。

復興マルシェには、東北6県から16団体が出店し、アップルパイやジェラートなどのお菓子や、水産物加工品などの各地の魅力あふれる特産品やグルメが並びました。

小国町からは、小国町地域総合商社が東京巣鴨のマルジとコラボした赤パンツ、キクラゲ栽培キットのきのこハウス、つる細工の猫じゃらしと

東北の魅力を発信・発見！
復興マルシェ&特産品応援プロジェクト



▲白い森ロゴをデザインした赤パンツは地元テレビ局にも取り上げられ、大きな反響がありました。

いったインパクトのある特産品を持っていき、「白い森おぐぐ」をPRしてきました。3日間のうち、初日はどしゃ降り、2日目は中止と、天候には恵まれなかったものの、多くの方にお立ち寄りいただき、山形県小国町を知っていただき、良い機会となりました。

先の見えない状況は続いています。これからも様々な機会をとらえて「白い森おぐぐ」をPRしていきます。

白い森まるごと塾Vol.14 × 白い森おぐぐにビジネス創出塾

コロナ時代の新しい地域のあり方とビジネス展開 ～自分たちの事業・ビジネスを育てていくには～

OKa Biz

OKa-Bizセンター長として、4年間で8,000件を超える中小企業の経営相談を受け、数々のヒット商品を生み出し、売り上げアップに貢献した大人気講師によるオンラインセミナーです。

お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

日時：10月7日(水)13:30～15:30
会場：アスモ3階 多目的ホール
講師：岡崎ビジネスサポートセンター
センター長 秋元 祥治 氏
申込先：総合政策課(☎87-0821)へ
10月5日(月)までにお申し込み下さい。

*今回はご自宅等からオンラインで参加いただくことも可能です。詳しくはお問い合わせください。



本町最高齢は101歳 // 第56回小国町高齢者顕彰式



▲代表して謝辞を述べられた馬場義之さん

令和2年度第56回小国町高齢者顕彰式が、9月15日、小国町民総合体育館で行われ、米寿（88歳）を迎えられた75人、喜寿（77歳）を迎えられた94人の合計169人のかたがたのうち、今年35人のかたが出席しました。例年お祝いの宴を行ってりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止しました。

式典では、仁科洋一小国町長が、「現在、小国町では、最高齢の満101歳を迎えられたかたが3名、めでたく百寿をお迎えのかたが5名、白寿をお迎えのかたが8名いらっしゃいます。今日の小国町の飛躍的な発展は、皆様が長年にわたり、ご尽力くださった賜物であり、あらためて深く感謝を申し上げます。」と式辞を述べました。その後、参加者を代表して米寿を渡部孝次さん（小国小坂町）、喜寿を北トワさん（大宮）が町からの記念品を受け取られました。

また、出席者を代表して今年喜寿を迎えられた馬場義之さん（小国小坂町）が、「新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、私たちの日常生活にも影響を及ぼしてきています。しかし、これまで数多くの困難を乗り越えてきた私たちと、現役世代の人たちが知恵を出し合い、協力すれば、きつと乗り越えられると考えています。いつまでも安心して住み続けられる町づくりのために健康に一層留意しながら頑張つて参ります。」と謝辞を述べました。

最後には、すみれ保育園の園児38人によるお遊戯や桜鷲会の踊り「祝船」が披露され、会場を大いに盛り上げてくださいました。



▲参加者全員での万歳三唱



▲祝品を代表受領された渡部孝次さん

入札結果情報（令和2年8月21日～令和2年9月20日実施）

単位（円）

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R2.8.26	令和2年度道の駅緑地化等整備工事	小国小坂町	R2.11.30	16,483,000	遠藤建設(株)	16,000,000
R2.9.3	令和2年度小学校学習者及び指導者用コンピュータ購入	岩井沢	R2.12.25	11,411,100	(株)NTTドコモ東北支社	11,411,100
R2.9.3	令和2年度中学校学習者及び指導者用コンピュータ購入	岩井沢	R2.12.25	11,098,000	(株)管理システム山形本部	10,740,000
R2.9.11	令和元年度繰越社会資本整備総合交付金事業 町道松岡黒沢峠線改良舗装その2工事	黒沢	R2.11.8	9,244,000	安部工業(株)	9,100,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

令和2年度小国町総合防災訓練について

- 日 時 10月4日(日) 9:00~11:40 (予定)
- 場 所 旧北部小中学校
- 訓練内容
 驚・太鼓沢・小股地区の避難訓練、避難所テント・段ボールパーテーション設置訓練、避難所設置運営訓練、情報伝達訓練、避難広報誘導訓練など
- その他
 当日は、10時頃エリアメールで避難情報を全町に配信する訓練を行いますので、ご留意ください。詳しくは、9月中旬に配布したチラシまたは町ホームページをご覧ください。
- 問合せ
 総務課管財・危機管理担当 (☎62-2112) へ



▲これまでの防災訓練の様子

健康の森横根の指定管理者を募集しています

- 指定管理者とは
 公共施設の管理運営を行う民間の法人やその他の団体のことです。ただし、個人は、指定管理者にはなれません。
- 募集対象施設 健康の森横根
- 指定管理機関
 令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間
- 申請書受付日時
 10月15日(木)、16日(金)8:30~17:00まで
- 募集要項等
 町ホームページに掲載しています。また、産業振興課観光経済室でも配布いたします。
- 問合せ 産業振興課観光経済室
 (☎62-2416) へ

相 談

▽行政相談パネル展示・特設行政相談

行政相談制度についてのパネル展示のほか、行政機関のサービスや手続きに関する要望や困りごとなどに行政相談員が応じます。

- 日 時 10月23日(金)10:00~14:00
- 場 所 アスモ
- 問合せ 町民税務課町民生活室
 (☎62-2260) へ

きらきらお買物券販売のお知らせ

- きらきらお買物券の内容
 - ・1枚あたり1,000円で、1万2千円分を1万円で購入できます。(プレミアム率20%)
 - ・1万円単位での販売で一世帯あたり10万円まで購入できます。なお、購入は現金のみです。
- 販売期間
 - ◎一般販売：10月16日(金)~18日(日)
 - ◎予約販売受付：10月5日(月)~7日(水)
 - ◎予約販売引換：10月15日(木)~18日(日)
 - ※予約販売対象者：65歳以上の高齢者がいる世帯、小学生までの子がいる世帯、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳Aをお持ちのかたがいる世帯
- 一般販売、予約販売受付・引換場所
 アスモ1階 特設会場 9:30~18:00
- 問合せ 小国町商工会 (☎62-4146) へ

沖庭コミュニティ協議会が発足しました

沖庭地区を共通の生活基盤とし、地域住民の交流を活性化し、安全な暮らしや福祉の向上を目指すことを目的に「沖庭コミュニティ協議会」が発足しました。

旧沖庭小学校を活動の拠点とし、旧校舎の管理や地区防災活動、夏休みラジオ体操等を行っていきます。

- 問合せ
 佐藤孝志会長
 (☎090-9532-8728) へ



▲夏休みラジオ体操の様子

高齢者インフルエンザ 予防接種への助成

今年度も10月1日から1月31日までの期間に、インフルエンザ予防接種を実施した65歳以上のかたへ接種費用の一部を助成します。詳しくは、世帯ごとに通知でお知らせします。

事情により県外の医療機関や施設等で接種を希望する場合は、事前に手続きが必要になるため、早めに健康福祉課へご相談ください。

※生活保護世帯のかたには接種費用を全額助成します。希望されるかたは、「無料受診券」を交付しますので、事前に健康福祉課へご連絡ください。

■問合せ先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

小児インフルエンザ予防接種費用助成

町では、インフルエンザの発病や重症化およびまん延の予防を目的に、小児インフルエンザの予防接種にかかる費用の一部を助成します。

■対象者

本町に住所を有し、接種日において生後6ヵ月～中学3年生までのかた

■接種(助成)期間

令和2年10月1日(木)～令和3年1月31日(日)

■助成額 1回につき2,000円

■助成回数 6ヵ月～13歳未満…2回
13歳以上 …1回

■その他

対象者には個別に通知します。詳細については個別通知をご覧ください。国の方針に基づき、10月26日以降の接種にご協力ください。

■問合せ先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

新型コロナウイルス関連情報

おうちで食べて米沢牛を応援!

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、枝肉価格の下落が続いている米沢牛を食べて、米沢牛を応援しましょう!米沢牛3,000円以上を該当店舗で購入したかたを対象に豪華賞品をプレゼントします。

■期間 10月1日～11月30日

■キャンペーン参加店 おきたま食の応援団ホームページからご確認ください。

■応募方法 米沢牛3,000円(税込)以上の購入を1口とし、購入時に参加店が配布する応募はがきに必要な事項を記入して応募してください。

■当選商品 特等 米沢牛(サーロインステーキ用200g×3枚)…10名様
1等 米沢牛(コースすき焼き用400g)…50名様
2等 つや姫(2kg)・雪若丸(2kg)食べ比べセット…100名様
3等 ラ・フランス(2kg・5～6玉)…140名様

■問合せ先 産業振興課 農林振興室へ
(☎62-2408)

町内イベント中止情報

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、右記イベントの開催を中止します。

ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◎おぐに鍋まつり

■問合せ先 おぐに鍋まつり実行委員会
(小国町商工会) (☎62-4146) へ

◎自然のめぐみ大感謝祭

■問合せ先 自然のめぐみ大感謝祭実行委員長
(横山隆蔵氏宅) (☎64-2263) へ

募集

県営住宅入居者募集

- 募集住宅 3DK 8戸
- 家賃 所得により決定
- 対象 入居世帯の所得制限あり
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期間 10月5日(月)～10月9日(金)
- 入居時期 12月上旬
- 申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市) 総合案内窓口
- 問合せ 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所 (☎0238-2412332) へ

町営住宅入居者募集

- ①町営住宅小坂町団地
 - 3DK 2戸(1・4階)
- 対象 世帯状況に応じた所得制限あり
- ②町営住宅あけぼの高齢者団地
 - 1LDK 1戸(1階)
- 対象
 - ▽世帯状況に応じた所得制限あり
 - ▽60歳以上のかたで自立した生活を送ることができ、同

居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること
①～②共通

- ◎家賃 所得により決定
- ◎敷金 家賃の3カ月分
- ◎募集期限 10月9日(金)
- ◎入居時期 11月上旬以降
- ◎問合せ 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431) へ

お知らせ

「置賜国有林の森林計画に関する住民懇談会」のご案内

住民参加の森林づくりを進める一環として、国有林の森林計画に関して説明会を開催し、皆様からのご意見・ご要望をお伺いします。

■日時

11月19日(木)13時30分～16時

■場所 南陽市文化会館小ホール

■募集人数 30人

■応募方法 住所・氏名・年齢・電話番号・職業を明記の上、10月9日(金)まで郵便、FAX(0238-62-

3553)またはメール(〒okitama@rinya.maf.go.jp)でお申し込みください。

■申込・問合せ

林野庁東北森林管理局置賜森林管理署 (☎0238-62-2246) へ

行政書士無料相談会の

お知らせ

行政書士は官公署に提出する書類の作成・相談・提出代行を行います。無料相談会を行いますので、ご利用下さい。

■日時 10月27日(火) 10時～12時(毎月第4火曜日に開催)

■場所 長井市役所市民相談センター

■問合せ 山形県行政書士会長 井支部事務所(青木事務所) (☎0238-88-4793) へ

置賜社会教育振興大会

(兼)置賜地区生涯学習

振興ブロック大会の

ご案内

次世代の地域を担う人づくりについて一緒に考えてみましょう。

■日時

11月10日(火)13時50分～16時

■場所 白鷹町中央公民館

■テーマ

「少子高齢社会を支える人材育成と組織開発」(仮)

■講師 会津大学短期大学校 准教授 青木孝弘氏

■参加料 無料

■申込締切日 11月4日(水)

■申込・問合せ 置賜社会教育振興会事務局(置賜教育事務所社会教育課内) (☎0238-88-8242) へ

米沢有為会

令和3年度奨学生募集

置賜地域の自宅外通学する女子学生と地元で活躍したい学生を後押しします。

■募集内容

①I型(貸費)

女子向け住居費補助奨学金

②II型(減免) 地産者定着奨学金

③III型(貸費) 一般貸費奨学金

■対象者(各2名)

①大学・大学院への女子進学者で自宅外通学の者

②大学・大学院卒業後3年以上継続して置賜に居住、県内に就業見込みの者

③大学・大学院進学者

■応募締切日 10月30日(金)

■問合せ 米沢有為会米沢支部 (☎0238-2215111) へ

10月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■2歳児歯科健診

- ・期 日 10月14日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成30年1月~4月生まれ

2. 場 所

健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ先

健康管理センター (☎61-1000) へ

総合センター 図書室から

~新着図書~ 休館日 毎週月曜日・祝日

◇首里の馬	高山羽根子
◇破局	遠野 遥
◇少年と犬	馳 星 周
◇黙示	今 野 敏
◇いちねんかん	畠 中 恵

求 人 情 報

右の表は9月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

今月の納税 2020.10

10月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●10月26日(月) 水道料

●11月2日(月)

町民税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

子育て支援センターから

■10月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
子育て講座・行事	「エアロビクス」	10月15日(木)10:20~11:20・健康管理センター ※動きやすい服装でタオル・飲み物をお持ち下さい。	必要
	「ヨガ」	10月20日(火)10:20~11:20・健康管理センター ※動きやすい服装でタオル・飲み物をお持ち下さい。	必要
	「ハロウィンごっこ」	10月29日(木)10:45~ 子育て支援センター	必要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ先 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

休日当番担当歯科医のお知らせ

10月4日(日)	米沢 村山歯科医院	0238-23-8640
10月11日(日)	長井 岩崎歯科医院	0238-85-2003
10月18日(日)	米沢 たいら歯科医院	0238-40-8404
10月25日(日)	川西 ふなやま歯科医院	0238-42-3057

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
大和建設運輸(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	重機運転手	1人	
	大型トラック運転手	2人	
(株)コメリ	販売・店舗運営職(リージョナル社員)	1人	8:45~18:00他
斎藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	3人	8:00~17:00
	介護職員(有資格者)	1人	6:00~15:00他
(株)キュアドリーム	介護職員	1人	
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	2人	8:00~17:00
		1人	8:30~17:00
(株)山形銀行	銀行業務(事務・窓口)	1人	9:00~17:00の間の5時間
		1人	
長谷川工業(株)	加工スタッフ(カーボン)	1人	8:30~17:00
	加工スタッフ(SiC)	1人	
(株)金十商店	鮮魚部門のチーフとして売場、従業員の管理	1人	8:00~17:00他
医療法人社団 緑愛会 満天の家	介護職(交替制)	1人	6:45~15:45他
吉田直土木(株)	トンネル工事職員(正社員)	2人	7:00~16:00他
(株)小国いきいき街づくり公社	一般事務他	1人	9:00~18:00
(株)横川建設	作業員	2人	8:00~17:00
	重機オペレーター見習い	2人	
	現場管理(1級または2級土木施行管理技士)	1人	
(株)旭林業	林業技術士、大型運転手	3人	7:30~17:15他
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	重機オペレーター	1人	
小国食糧(株)(栄町市場)	経理事務	1人	8:30~18:30の間の5時間

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

10月の あいベイVENT ウォーキング教室



健康かつ効果的な歩き方を学ぼう

- 日 時 10月17日(土)13:00～14:30
- 対象者 どなたでも
- 参加費 1人100円（保険料込）
- 持ち物 室内シューズ、飲み物等
- 申込締切 10月15日(木)
- その他 インストラクター齋藤氏が指導します。

■申込・問合せ先
(☎62-5808)

特定非営利活動法人
おぐにYui
スポーツクラブ

小国町森林体験観光推進事業 町内神社巡り



- 日 時 10月18日(日)8:30～15:00
- コース 古四王神社（大滝）から大宮神社までの8神社をバスで巡ります。
- 集 合 おぐに開発総合センター8:30
- 定 員 先着15人
- 対 象 小国町在住の大人
- 参加費 2,000円（弁当代、保険料、資料代等）
- 申込締切 10月8日(木)
- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
(☎62-5955) へ

NPO法人With優 出張相談会

- 日 時 10月27日(火)10:00～14:00
- 場 所 おぐに開発総合センター 2階研修室
- 内 容
不登校やひきこもりで悩んでいるかたの無料相談会です。専門の相談員が学校や就労のことについて、本人やご家族からの相談に対応します。予約優先となります。お気軽にお問合せください。
- 問合せ先 NPO法人With優 安達
(☎0238-33-9137) へ

置賜若者サポートステーションのご案内

NPO法人With優（米沢市）では、厚生労働省と山形県より委託を受け、置賜地域の若者の就労支援を行う「置賜若者サポートステーション」を運営しています。

原則として15歳から49歳までの現在お仕事や通学をしていないかたなどを対象とし、面談や多彩なプログラムを組み合わせ、就労に向けてステップアップできるようサポートしています。今年度からは年齢の上限が49歳に大きく変更となり、より多くのかたにご利用いただける内容となっています。

ご相談・ご利用は無料で、秘密は厳守いたしますので、これから就職をしようとしているけれど、一歩踏み出せずにいるかた、これからのことで不安や悩みを抱えているかた、まずはお気軽にお問合せください。

■問合せ先 NPO法人With優
(☎0238-33-9137) へ

不幸な子猫を産ませないために

野良猫や飼いきれなくなって処分される猫をなくすため、メス猫の不妊手術費を補助します。

- 対 象
県内で飼育されている原則として6カ月齢以上のメス猫（1世帯につき1匹）
- 申込期日 10月1日(木)～30日(金)（必着）
- 対象数 60匹
申込数が予定数を超えた場合は抽選とし、当選されたかたには当選通知書を送付し、発表にかえさせていただきます。
- 補助額 1匹あたり5,000円
(手術費用の一部として)
- 申込方法
ホームページまたは、はがきで申込ください。
- 注意事項
・当選されたかたは、12月28日(月)までに（公社）県獣医師会会員の動物病院で手術を実施してください。手術後、費用を支払っていただき当選通知書に証明押印をもらい、本会へ送付してください。
・当選通知を受けた日以後の手術が対象になります。
・送付された当選通知書を確認後、補助額相当分のQuoカードを送付します。
- 申込・問合せ先
(公社)山形県獣医師会
(☎023-645-5223) へ



●小国町役場 ☎62-2111代fax62-5464
 ●総務課（行政管理担当／管財・危機管理担当／財政担当） ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
 ●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

（ 8 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

黒 沢 安 部 風 咲（ 祐 輔
 貝 少 木 村 姫 笑（ 剛 愛
 舟 渡 伊 藤 鈴（ 文 善 世

結婚おめでとうございます。

（ 長 井 市 樋 口 誠
 岩 井 沢 安 達 瑞 稀

おくやみ申し上げます。

西 今 恵美子 (52)
 沼 沢 後 藤 きよ (98)
 小国小坂町 菅 まつ子 (61)
 若 山 舟 山 潔 (67)
 あけぼの 佐 藤 二 男 (95)
 舟 渡 佐 藤 啓 (90)
 小国小坂町 三 須 リン (99)
 伊 佐 領 高 橋 俊 雄 (82)
 越 中 里 木 村 ヨシ子 (85)
 西 加 藤 三 郎 (86)
 伊 佐 領 鹿 嶋 と み (101)
 松 岡 渡 部 チエ子 (92)
 緑 町 熊 谷 のぶ子 (91)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和2年8月31日現在）

人口 男・・・3,629人（－6）
 女・・・3,664人（－13）
 計・・・7,293人（－19）
 世帯数 3,024世帯（－10）

「暑さ、寒さも彼岸まで」と言うように、過ぎ去りやすき季節になりましたが、最近はやや朝方に寒さで目が覚めるようになってきました。早いもので10月。稲刈りも進み、もうすぐ冬がやってきますね。昨冬は、記録的な少雪で、今年はどうなるのかなと雪の話をするかたが多い気がしています。降った降ったで大変な雪ですが、降らないければ降らないで少し寂しく感じるものがいいですね。（仁科）

仕事 v01.28 図鑑

特定非営利活動法人 まんまる

代表者 理事長 丹 学
 従業員数 23人
 所在地 小国町大字小国小坂町475-1
 事業概要 障がい福祉サービス事業、特定相談支援事業、高齢者福祉サービス事業

今年の3月から特定非営利活動法人まんまるに勤める伊藤由美子さん（五味沢）は、結婚を機に12年ほど前に尾花沢から移り住み、子ども5人を持つ母です。「以前勤務していたスーパーにお客さんで来ていた障がいのあるかたから、「ありがとう」と言われたことが印象に残り、福祉の仕事に興味を持つようになりました。現在は、地域活動支援センターみらい（岩井沢）で重度の利用者の食事やトイレの手助け、入浴介助を担当しています。初めてのことで不安も多いです。また、利用者さんとのコミュニケーションを上手にとることが難しく、伝えたいことが伝わらないなど感じることもあります。そんなときは、声をはっきり大きく聞こえるようにしたり、ジェスチャーを交えたりしています。利用者さんとの信頼関係を築きながら、頼りにされる職員を目指したいです。」と話してくださいました。

障がいを持つ者や高齢者等が地域の中で社会の一員として自立した生活をおくることができるように平成8年12月に岩井沢に民家を借りて開設したのが、特定非営利活動法人まんまるの始まりです。その後、平成10年に現在の事業所に移転しました。町内では唯一障がい福祉サービスを提供しています。日常生活の場としてのグループホーム（共同生活援助）の設置や日中活動の場として、共同作業所まんまる（小国小坂町）での就労支援、生産活動、知識や能力向上のために必要な訓練等を行っています。また、地域活動センターみらいでは、文化・創作活動を行っています。現在は、利用者さんと一緒にくろもじ茶や粉石けん、さをり織り製品、農産物等作り、道の駅や町内一部店舗での販売に力を入れています。まんまるには、仕事をされていて嬉しくて泣けてくる。そんなスタッフがたくさんいます。それがまんまるの強みです。これからも、利用者寄り添うサービスを提供していきます。



▲利用者を見守る伊藤由美子さん

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.17



⑰ 「黒沢峠 古屋敷（峠の茶屋）」

黒沢集落を抜け、お祭り広場からブナ林の中の黒沢峠敷石道を進むこと、30分程度。突如、眺望の開けた場所に出ます。そこには、古屋敷が残っています。享保3年（1746年）にこの場所で伊藤平太郎家族が住み、明治17年（1884年）に小国新道が開通するまでの間、茶屋を営み、旅人をもてなしたと言われています。今もなお、当時の茶屋の土台石や沢から引いた水路跡が残ります。今年度の黒沢峠祭りは中止になりましたが、懐かしい景色に会いに行ってみてはいかがでしょうか。